



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 トヨタ紡織株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 3116 URL <http://www.toyota-boshoku.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 豊田 周平

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岩森 俊一

TEL (0566)26-0313

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	801,076	21.8	20,913	145.3	25,701	179.4	12,289	—
24年3月期第3四半期	657,587	△11.5	8,526	△69.9	9,197	△64.4	△2,918	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 19,040百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △10,429百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	66.32	—
24年3月期第3四半期	△15.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	525,702	—	201,032	—	—	32.7
24年3月期	597,654	—	190,347	—	—	26.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 172,053百万円 24年3月期 161,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,070,000	11.0	24,000	14.8	29,000	24.9	13,000	302.1	70.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	187,665,738 株	24年3月期	187,665,738 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,362,876 株	24年3月期	2,362,828 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	185,302,907 株	24年3月期3Q	185,302,935 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は平成25年2月1日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の連結業績につきましては、売上高は、増産の影響などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ1,434億円(21.8%)増加の8,010億円となりました。利益につきましては、製品価格変動の影響、労務費・諸経費の増加などの減益要因はありましたが、増産増収の影響、合理化などにより、営業利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ123億円(145.3%)増加の209億円、経常利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ165億円(179.4%)増加の257億円、四半期純利益(純損失)につきましては、前年同四半期連結累計期間に比べ152億円(前年同四半期連結累計期間は29億円の四半期純損失)増加の122億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、エコカー購入支援政策及びアクアの増産効果などにより、売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ685億円(17.6%)増加の4,589億円となりました。営業利益(損失)につきましては、増産効果などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ35億円(前年同四半期連結累計期間は2億円の営業損失)増加の33億円となりました。

②北中南米

当地域におきましては、カローラ、RAV4の増産効果などにより、売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ292億円(29.6%)増加の1,280億円となりました。営業損失につきましては、トヨタ紡織ドブラジル有限責任会社の生産準備費用の影響などはあったものの、増産効果や収益構造改革の成果などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ35億円(前年同四半期連結累計期間は60億円の営業損失)減少の25億円となりました。

③アジア・オセアニア

当地域におきましては、IMVの増産効果などにより、売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ405億円(23.6%)増加の2,126億円となりました。営業利益につきましては、増産効果などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ71億円(43.4%)増加の235億円となりました。

④欧州・アフリカ

当地域におきましては、フランスのヤリスの増産効果や、前連結会計年度にPOLYTEC Holding AGの内装事業部門を取得し、紡織オートモーティブヨーロッパ有限責任会社として事業を開始したことなどにより、売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ107億円(32.7%)増加の437億円となりました。営業損失につきましては、固定費の増加などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ17億円(前年同四半期連結累計期間は23億円の営業損失)増加の41億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、売上債権の減少、手元流動性の減少などにより、前連結会計年度末に比べ719億円減少の5,257億円となりました。

一方、負債は、前連結会計年度末に比べ826億円減少し、3,246億円となりました。主な要因は、買入債務の減少、借入金の返済によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ106億円増加し、2,010億円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期のわが国経済は、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務問題の長期化や新興国経済の一段の減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、円安による輸出環境の改善や政府の経済対策の効果などを背景に緩やかな回復が期待されるものの、海外経済の下振れ等による景気の下押しリスクも残り、予断を許さない状況が続くものと思われ

ます。
このような中で当社グループは、さらなる飛躍をはかり、もう一段上のステージを目指していくために、「2020年Vision」を策定いたしました。「2020年Vision」では、2020年にありたい姿として「世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社」、「すべてのステークホルダーから信頼され、共に成長する会社」を掲げました。また、2011年度から2015年度までを「飛躍のための構造改革期」と位置づけ、次の4つの主要課題に取り組んでまいります。具体的には、①事業領域の拡大に向けた先端技術の追求、②新興国を中心としたグローバルでの事業拡大の加速、③幅広い顧客拡大に向けた業務・組織改革、④日本事業のスリム、高効率、高付加価値化の徹底でございます。これらの課題に対し、これまでの考え方や価値観に捉われることなく、「Quantum Leap」、すなわち発想の飛躍を持って取り組んでまいります。

業績予想につきましては、通期の為替レート1US\$=82円、1EURO=105円の想定のもと、通期の予想を、売上高1兆700億円、営業利益240億円、経常利益290億円、当期純利益130億円と見込んでおり、主に主要顧客向けの販売が計画に対して好調に推移していることにより、平成24年10月31日の公表値から変更しております。

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,650	93,587
受取手形及び売掛金	154,029	113,374
有価証券	55,034	27,886
商品及び製品	4,564	5,107
仕掛品	4,725	7,937
原材料及び貯蔵品	17,136	18,824
その他	35,193	30,720
貸倒引当金	△281	△358
流動資産合計	372,052	297,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	75,696	74,296
機械装置及び運搬具（純額）	72,893	71,095
その他（純額）	41,242	44,887
有形固定資産合計	189,832	190,280
無形固定資産		
のれん	3,670	3,298
その他	755	898
無形固定資産合計	4,426	4,196
投資その他の資産		
投資有価証券	10,499	13,622
その他	21,011	20,691
貸倒引当金	△168	△168
投資その他の資産合計	31,342	34,145
固定資産合計	225,602	228,622
資産合計	597,654	525,702

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	158,305	119,830
短期借入金	16,282	16,130
1年内返済予定の長期借入金	35,181	6,807
未払法人税等	4,527	3,735
製品保証引当金	1,478	1,512
役員賞与引当金	191	236
その他	56,237	42,708
流動負債合計	272,204	190,960
固定負債		
長期借入金	103,918	101,746
退職給付引当金	26,141	27,417
役員退職慰労引当金	860	580
資産除去債務	323	327
その他	3,857	3,635
固定負債合計	135,101	133,708
負債合計	407,306	324,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,098	9,098
利益剰余金	176,630	185,770
自己株式	△4,675	△4,675
株主資本合計	189,454	198,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	785	929
為替換算調整勘定	△29,224	△27,469
その他の包括利益累計額合計	△28,439	△26,540
新株予約権	972	812
少数株主持分	28,360	28,166
純資産合計	190,347	201,032
負債純資産合計	597,654	525,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	657,587	801,076
売上原価	607,923	730,747
売上総利益	49,664	70,329
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	15,706	17,511
その他	25,430	31,904
販売費及び一般管理費合計	41,137	49,415
営業利益	8,526	20,913
営業外収益		
受取利息	980	1,079
持分法による投資利益	743	822
為替差益	—	1,887
その他	4,595	4,253
営業外収益合計	6,320	8,044
営業外費用		
支払利息	1,309	1,405
減価償却費	864	656
為替差損	1,828	—
その他	1,647	1,193
営業外費用合計	5,649	3,256
経常利益	9,197	25,701
特別損失		
災害による損失	3,288	—
特別損失合計	3,288	—
税金等調整前四半期純利益	5,909	25,701
法人税、住民税及び事業税	6,902	9,388
法人税等調整額	△1,369	△370
法人税等合計	5,533	9,018
少数株主損益調整前四半期純利益	376	16,683
少数株主利益	3,294	4,393
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,918	12,289

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	376	16,683
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△141	135
為替換算調整勘定	△10,552	1,980
持分法適用会社に対する持分相当額	△111	241
その他の包括利益合計	△10,805	2,357
四半期包括利益	△10,429	19,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,117	14,188
少数株主に係る四半期包括利益	1,687	4,852

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	361,546	97,137	166,594	32,308	657,587	—	657,587
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,815	1,692	5,511	628	36,648	△36,648	—
計	390,362	98,829	172,106	32,937	694,235	△36,648	657,587
セグメント利益又は損失(△)	△239	△6,011	16,402	△2,384	7,766	760	8,526

(注) 1 セグメント利益の調整額760百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州・アフリカ」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にPOLYTEC Interior GmbH(統合後名称 紡織オートモーティブヨーロッパ(有))を取得し子会社化いたしました。取得原価の配分が完了していないため、暫定的な金額ではありますが、当該事象によるのれんの増加額は1,930百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	426,594	125,877	205,517	43,087	801,076	—	801,076
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,345	2,173	7,157	635	42,310	△42,310	—
計	458,940	128,050	212,674	43,722	843,387	△42,310	801,076
セグメント利益又は損失(△)	3,330	△2,507	23,519	△4,168	20,174	739	20,913

(注) 1 セグメント利益の調整額739百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。